

平成28年5月5日発行

八葉山 天台寺 だより 第4号

天台寺本堂・仁王門保存修理工事現況報告

平成27年度までに本堂半解体、仁王門は全解体に工事変更し解体工事は終了しました。28年度以降は、腐朽、損傷の激しい箇所は補修工事に入ります。また、屋根材は江戸時代初期の建立時においては本堂、仁王門も植物性（とち茸・こけら茸）であることが判明しました。文化庁からも「植物性の屋根を復原した建立当初の姿」に復し、文化財的な価値を高めるよう強く指導されてきました。これらを受け天台寺としても、修理方針を変更して当初復原することにいたしました。

本堂については「屋根銅板茸」を「とち茸」に、仁王門については「屋根鉄板茸」を「こけら茸」に復原することになりました。

ついでには、当初計画よりも「解体範囲の拡大」「補修範囲の増大」「屋根復原」に係る大幅な工期延長、工事費の増額となります。今後の寄進お願い額は3,800万円を予定しております。今後ともご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

事業期間 43ヶ月 ⇒ 79ヶ月（平成25年9月～平成32年3月31日 6年7ヶ月）

事業終了 当初計画：平成29年3月31日 ⇒ 変更後：平成32年3月31日



本堂古写真（とち茸） 大正4年6月6日 岩手県知事天台寺来訪



門 王 仁 寺 台 天 (村 寺 法 淨 郡 戸 二 縣 手 巖)

大正8年発行絵葉書 屋根がこけら葺である



古材補修及び取替新材加工中

<写真提供>公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 ※上記工事中写真

天台寺保存修理事業へのご寄進を随時受け付けておりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

<寄進方法>

郵便振替 (ゆうちょ銀行) 口座 02230-1-106184 天台寺本堂等修復事業推進委員会

〒028-6942 岩手県二戸市浄法寺町御山久保33 八葉山 天台寺 (TEL・FAX:0195-38-2500)

(題字「天台寺」は、南北朝時代・正平18年(1363)に奉納された銅鑿口の天台寺銘で、現存資料中寺名が記された最も古いものです。)